

(公財)京都市森林文化協会	平成27年度経営計画 兼 経営努力結果
---------------	------------------------

基本事項

所管局課	産業観光局農林振興室林業振興課	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
-----	-----	------	--------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	公益財団法人として掲げる森づくり事業やイベント事業、森林体験支援事業等の各公益目的事業の推進と一体的に、宿泊休養施設をはじめ各収益施設の利用者数の増加を目指す。
財務面	経営の安定化を図るため、収益事業等を中心に独自収入を増加させ、現在の短期借入を解消し、安定した経営を目指す。
組織面	公益目的事業を専門的に担える人材を育成するとともに、各事業の運営状況に合わせて適切な職員配置を行う。
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	平成26年度に開催されたトレッキングイベントは、参加者からも好評であったため、当イベントの開催数を増加する点が評価できる。今後、京都市内でも左京区北部山間地域にしかない魅力を最大限に活用した新たなイベントにも取り組んでいただきたい。また、チラシ配付やホームページの充実、その他の宣伝手法を積極的に活用することによって、利用者の拡大を目指すことが重要である。
-----	--

当年度の取組に対する総括(※)

団体(※)	収益事業の増収増益で、財務状況も改善した。更なる経営の安定化を目指して協会独自収入の確保を目指す。
所管局(※)	チラシ配布による広報活動、四季折々の宿泊プランを用意する等によって、宿泊休養施設の利用者が平成26年度より増加しており、業務面での目標は達成できた。
外郭団体総合調整会議(※)	創意工夫と地道な努力により利用者と収益の増加を実現している点は評価でき、引き続き積極的な取組を期待する。

(1)業務に関する取組

目標「山村都市交流の森利用者の拡大」	
中期経営計画 における取組	京都市北部山間地域における豊かな自然や山村文化を積極的に活用し、都市住民への魅力発信により、山村都市交流の森の利用者拡大を図る。 特に、国定公園の指定（予定）を機に、新たな取組を検討、展開し、収益施設の利用者拡大につなげる。
当年度目標	京都市北部山間地域の魅力を活用した取組の充実として、トレッキングイベントの開催数を増加するとともに、トレイルランニング大会の誘致等により、山村都市交流の森入園者数と収益施設利用者数の拡大を図る。
当年度結果 (※)	交流の森入園者は、貸切バスの料金値上げ等の影響で、小学校等の団体利用が減少したこともあり、前年度より若干減少したが、野外施設（バーベキュー場）の利用者数は増加した。引き続き交流の森利用者数の拡大に向け、イベントや施設の広報を進めていく。

指標①	山村都市交流の森入園者数				(単位：人)			
中期経営計画	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—			33,000			34,000	35,000
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	32,000	—	39,299	33,000	—	38,594	—	

指標②	宿泊施設利用者数				(単位：人)			
中期経営計画	平成26年度			平成27年度			平成28年度	平成29年度
	—			11,000			12,000	13,000
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	10,000	—	12,453	11,000	—	12,451	—	

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成26年度			平成27年度			備考欄
	予算	見込	実績(※)	予算	見込	実績(※)	
経常収益	82,522	—	121,803	83,000	—	120,238	
経常費用	80,962	—	119,020	81,000	—	110,516	
当期経常増減額	1,560	—	2,783	2,000	—	9,722	
当期正味財産増減額	1,560	—	5,472	2,000	—	7,925	
資産合計	132,000	—	124,259	136,000	—	127,616	
負債合計	60,000	—	43,810	60,000	—	39,242	
正味財産	72,000	—	80,449	—	—	88,374	
うち累積損益額	22,000	—	30,449	—	—	38,374	

目標「経営の安定化」

中期経営計画 における取組	一般正味財産が平成25年度末で、△1,313千円であったが、平成26年度で解消する見込みである。今後は、公益財団法人としての基準を満たしながら、収益事業の充実により、必要な運転資金を確保し、経営を安定させる。
当年度目標	平成26年度に引き続き、経営の安定化に向け、山村都市交流の森の利用者拡大によって、収益事業の充実を図る。
当年度結果 (※)	イベントの開催数増加や、誘客活動としてのイベントチラシの作成、市内各所や京都市関係機関及び主要交通機関における広報を実施した結果、イベントの参加者数及び宿泊施設や野外施設の利用者が増加し、収益事業を充実させることができた。

指標	一般正味財産期末残高				(単位:千円)	
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度
中期経営計画	—		5,000		6,000	7,000
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)
	4,000	—	5,886	5,000	—	15,538

(3)組織に関する取組

目標「職員研修の充実」	
中期経営計画における取組	<p>職員が、事業の企画運営、経営に必要な知識を得るため、先進事例の調査を積極的に行うとともに、森林文化のインストラクターとしての資質の向上など研修や講習会等に参加する。</p> <p>また、職員は技術の習得と視野の拡大を図るため、年間を通じて固定した業務に就くのではなく、季節や業務の繁閑、技能の程度に応じて、臨機応変に配置換えを行うものとする。</p>
当年度目標	<p>京都市等が実施する研修会への参加と全職員への伝達研修とともに、森林文化に係るインストラクターとしての資質向上や宿泊者やイベント参加者への対応における必要な知識の習得について、協会独自の職員研修を実施する。</p>
当年度結果(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市のコンプライアンス推進対策会議に参事が出席し、その後職員に伝達研修を行った。 ・森林文化交流センターにAEDを設置したことを期に、その取扱いと心肺蘇生法の研修会を実施した。 ・狩猟免許(わな)取得 1名

指標	研修への参加				(単位：回)			
	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成29年度		
中期経営計画	—		3		3	3		
実績	目標	見込	実績(※)	目標	見込	実績(※)	—	
	3	—	1	3	—	1		